

武蔵野市長 邑上守正様

放射能測定の拡充を求める申し入れ

2011年7月19日

日本共産党武蔵野市議団

六月議会で三件の「子どもたちを放射能汚染から守ってほしい」と願う陳情が採択されました。

武蔵野市は給食食材や市内三校の大気中の放射能測定、二校のプールの測定を行いました。陳情は市内の全小中学校をはじめ、きめ細かい放射能測定を求めています。

政府は、健康にはただちに影響はないと発言を繰り返していますが、将来的にみて、影響があるのではないかと、子どもをもつ家庭は不安な日々を過ごしています。

このような住民の声を受け止め、多くの自治体では放射能測定の全校実施を行なうなど対策を強めています。7月8日現在で、放射能測定の全校実施を行なったのは、15区、17市です。幼稚園・保育園の測定を行ったのは、21区、19市となっています。

武蔵野市においても、放射能測定の全小中学校、保育園・幼稚園、公園などの実施を求めます。測定は一箇所に留まるのではなく、放射能が溜まりやすいとされる、砂場、植え込み、側溝などきめ細かに、測定回数も増やすよう求めます。

測定結果は前回同様に広報などで全市民に知らせることを求めます。